

# INTERKYOTO

インターキョウト



2002.9.30 No.15

社団法人京都府情報産業協会  
発行：企画広報委員会

## 協会の事業理念

「高度情報社会」が言われて久しく、特にここ数年の情報通信技術の発達にはめざましいものがあります。このような大きな社会環境の変化の恩恵を享受出来るか否かが大きな岐路になることは確実と見られ、社会の発展と情報通信技術の進展によって情報格差はますます拡大する一方、健全な情報社会全体の障害要因にもなりかねません。

このような時代背景の中で、社団法人京都府情報産業協会は、健全な高度情報社会を実現する上で、情報格差を出来るだけ少なくする仕組みが社会的に構造化されていなければならない必須条件と考え、情報格差の解消を目的とした対策に取り組むことが社会的な役割と考えるものです。

この基本理念のもと、情報技術を通して時代に対応した「地域への貢献」を志向し、府民生活の向上に資する情報化促進事業、府民に対する情報関連技術の啓発・普及事業、府内地域産業の情報化促進事業などの各種事業を展開して参ります。

### 事業の柱

- (1) 府民生活の向上に資する情報化促進事業
- (2) 府民に対する情報関連技術の啓発・普及事業
- (3) 府内地域産業の情報化促進事業
- (4) 社会の発展に伴う諸課題に対する情報通信技術の利活用に関する事業
- (5) 行政、団体、その他関係機関との連携・交流事業
- (6) 府内情報産業の強化振興事業
- (7) 全国情報関連諸団体との連携事業
- (8) その他本協会の目的を達成するために必要な事業

以上

# 飛躍に向け、新体制へバトンタッチ

## 専任事務局員設置と会費改定へ

### 第1部 通常総会

京都府情報産業協会は3月19日、設立後初の通常総会をハートンホテル京都にて開催しました。この日は来賓として、京都府商工部産業推進課より山下晃正課長、岡田宏一企画主任、京都府中小企業総合センター産業企画部より三宅修三企画主任、京都市産業観光局商工部産業振興課より大森憲課長、馬屋原宏係長、菊池章弘主任、財団法人京都産業21より扇谷紳一理事にご出席いただきました。

白石雪翁会長の開会挨拶の後、来賓を代表して京都府の山下晃正課長、京都市の大森課長よりご挨拶いただきました。続いて議案審議に移り、まず平成14年度の事業計画案の説明がなされました。特に、京都市が推進している京都ONE構想（京都の情報通信ネットワークの向上を目指した構想）に取り組むために、運営団体である京都情報基盤協議会に入会する件が発議され、承認されました。次に予算案の審議に入り、協会としての活動基盤整備に向け専任の事務局員を雇用すること、その際事務局員に対する委託契約費捻出のため正会員の会費を年額6万円から9万6千円に増額する件が承認されました。そして、早速専任事務局員として奥村良三氏に業務委託することが報告されました。

続いての役員改選では、理事辞任を申し出られた田中義則氏に代わって北山寛巳・けいしんシステムリサーチ㈱代表取締役社長が選任され、他の理事・監事は再任となりました。

ここで休憩の合間をぬって新役員による理事会が開かれ、会長に北村昱・島津エス・ディー㈱代表取締役社長、副会長に畑山正雄・㈱京信システムサービス代

表取締役社長と北山寛巳新理事がそれぞれ選任され、就任されました。

総会を再開して、新入会員と退会会員の報告、また、新事務局員として佐々木洋氏が就任する旨が報告されました。それに伴い、協



会事務局を現在の京都電子計算㈱から京都コンピュータ学院内に移転する件が発案され、承認を得ました。そして北村新会長から、特別職として白石前会長を名誉会長に、田中義則前理事を顧問として選任することが発案され承認、就任されました。

新年度事業計画から新執行体制まで、盛り沢山の議決がなされた総会は、白石前会長の退任挨拶、最後に北村新会長の閉会挨拶によって幕を閉じました。

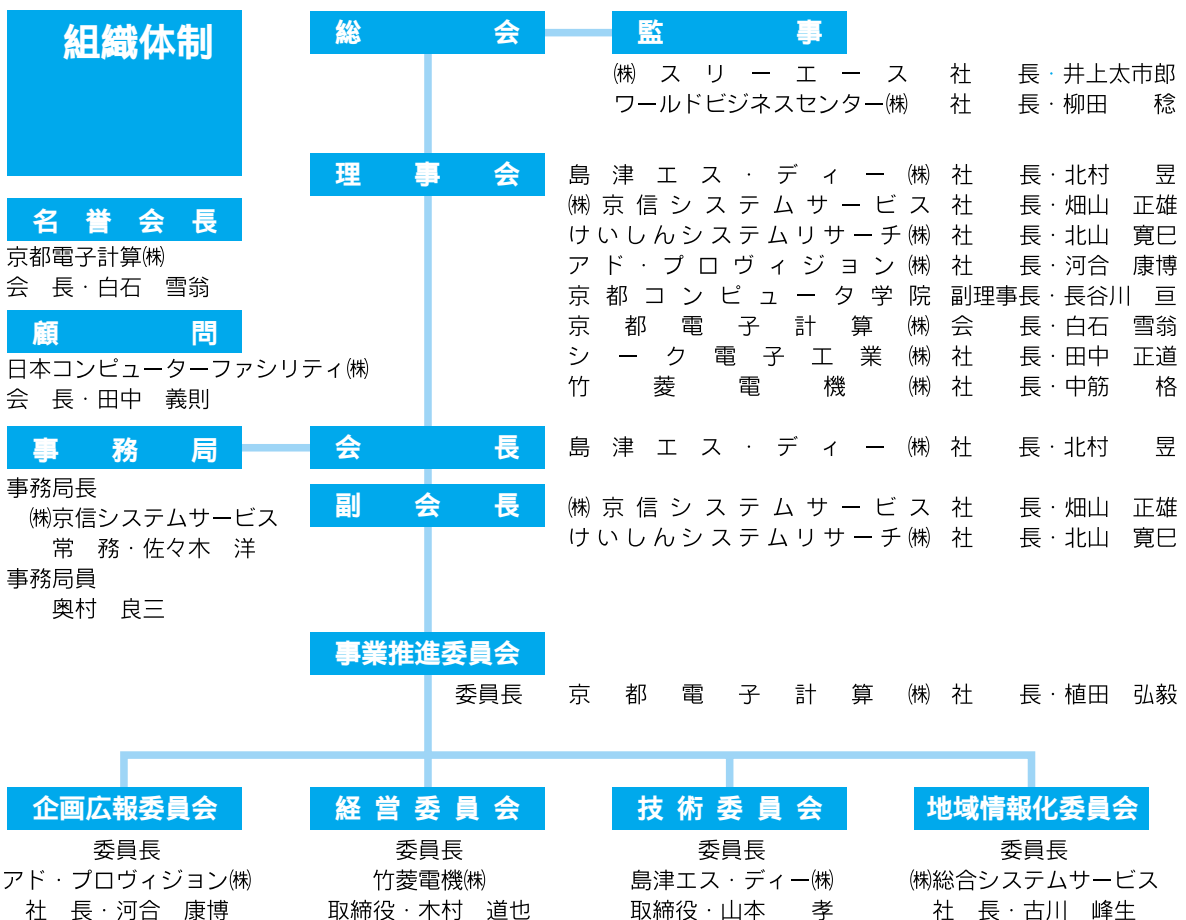
#### 平成14年度の事業計画、新たなポイント

- (1) 府民生活の向上に資する情報化促進事業  
身障者のパソコン・リテラシー実態調査と施策の研究（技術委員会）
- (3) 府内地域産業の情報化促進事業  
ソフト系IT産業推進調査事業（京都府ITバザール構想との提携、地域情報化委員会）
- (6) 府内情報産業の強化振興事業  
京都ONE構想との連携（推進団体の京都情報基盤協議会へ入会、地域情報化委員会）
- (8) その他本協会の目的を達成するために必要な事業  
インターネット・ホームページの開設（企画広報委員会）



## 第2部 交流会

総会終了後、会場を移して交流会が開催されました。畑山正雄新副会長の開会挨拶の後、京都府商工部、京都商工会議所、京都産業21よりご来賓の挨拶をいただきました。入会されたばかりの新会員・(株)トーセの方や、新たに事務局員として採用が決まった奥村良三氏が紹介された後歓談へ。前役員の方のこれまでの労をねぎらい、新役員・事務局員の今後の健闘を祈りながら、和やかに語らいの時は過ぎました。



# 協会設立最初の1年を振り返る

## 平成13年度の事業実績と決算報告



北村新会長

盛況に終わった平成13年度通常総会から1ヶ月後の4月23日、平成14年度第一回目の通常総会を平安会館にて開催しました。来賓には京都府商工部産業推進課から山田格参事、岡田宏一主任をお招きしました。

北村会長の開会挨拶の後、佐々木事務局長が平成13年度の活動を概観を交えて報告しました。また、事業推進委員会・企画広報委員会・地域情報化委員会・経営委員会・技術委員会の事業報告が、各委員長により行われました。続いて佐々木事務局長が平成13年度の決算報告を発表すると、西河監事が監査報告を読み上げ、この決算が適正であると認めました。こうして事業実績と決算報告は審議にかけられ、賛成多数で承認されました。

また、監事の人事が発議され、本年3月で当協会を退会された西河勝男・(株)暁電機製作所会長に替わって井上太市郎・株式会社スリーエース代表取締役社長が選任されました。

最後に北山副会長が挨拶して、本年度最初の通常総会は閉会となりました。

佐々木事務局長：平成13年度活動概観（要旨）

当協会にとって初めての事業年度となる平成13年度は、全体的として非常に景気が低迷した厳しい経済情勢でした。その中にあっても情報サービス業は毎年最高記録の更新が続き、情報化は確実に進行しています。このような状況を見ると、情報サービス産業と関連業界団体には好不況にかかわらず大きな社会的使命があるといえるでしょう。

このような認識を背景に、社団法人設立認可を得て直ちに事業執行体制の構築に取り組みました。事実上事業開始は6月からと、実質10ヶ月間の活動ではありましたが、京都府民への情報最新技術の紹介、行政諸機関との連携など、協会の規模なりに均衡ある活動ができたと確信しております。

## 第2部 説明会

### 「雇用創出のための企業立地・育成条例」について

京都府商工部 産業推進課 参事 山田格氏

通常総会に続いて、この4月1日から施行されたばかりの新条例「雇用創出のための企業立地・育成条例」の説明会が開催されました。

京都の産業集積に厚みをつけ、雇用の場を確保していくことを最大の狙いとするこの条例の、大きな柱の一つは、ものづくり産業集積促進のための支援施策。指定の「ものづくり産業集積促進地域」に製造業、ソ



フトウエア業、情報処理サービス業の研究所・工場などを新增設する場合、不動産取得税が最大10分の9軽減されます（ただし新規に五人以上を雇用することが前提条件）。もう一つの柱は、創造的中小企業育成のための支援施策。創業5年以内、あるいは10年以内の中小企

業が創造法または経営革新法の認定を受けると、5年以内なら法人事業税が10年以内の場合は不動産取得税が、最大10分の9軽減されます。

新条例のすべてがわかる、微に入り細にわたった説明会でした。

## 京都府情報産業協会・平成13年度のあゆみ

日 時	内 容
平成13年 4月 25日	協会設立
平成13年 5月 17日	社団法人設立記念行事：記念講演会「インターネット放送の課題と展望」と交流会
平成13年 6月	第1回景気短観懇談会（事業推進委員会、経営委員会）
平成13年 7月 27日	臨時総会
平成13年 8月	協会報「インターキョウト」第14号発行（企画広報委員会）
平成13年 8月	第2回景気短観懇談会（事業推進委員会、経営委員会）
平成13年 8月 2日	白石会長他、ANIA全国大会に参加
平成13年 8月 25日	グリーンサミット（事業推進委員会）
平成13年 8月 30日	第1回SE交流会開催（技術委員会）
平成13年 9月 12日	ボウリング大会（事業推進委員会）
平成13年 9月 14日	ITSSPセミナー「ITSSPとITコーディネータ（補）試験」（技術委員会）
平成13年 9月 26日	第1回情報交換広場「会員各社の製品・サービス発表」（経営委員会）
平成13年10月 23日	秋期臨時総会と京都情報化フォーラム「ブロードバンドの可能性」と交流会
平成13年11月	第3回景気短観懇談会（事業推進委員会、経営委員会）
平成13年11月 20日	第2回情報交換広場特別セミナー「e-京都21（京都市IT戦略）政策について」（経営委員会）
平成14年 1月 15日	賀詞交換会と新春セミナー「IT革命時代における経営戦略」
平成14年 1月 29日	第3回情報交換広場「会員各社の業務契約（免責事項）について」（経営委員会）
平成14年 2月	協会報「インターキョウト」第15号発行（企画広報委員会）
平成14年 2月	第4回景気短観懇談会（事業推進委員会、経営委員会）
平成14年 2月 8日	第2回オープンセミナー「中国ソフトウェア産業の現状と日本の課題」（技術委員会）
平成14年 2月 13日	第2回SE交流会開催（技術委員会）
平成14年 3月 19日	第1回通常総会と交流会
平成14年 3月 26日	ケータイ国際フォーラム協賛
~ 28日	

## 協会だより

正会員 48社  
賛助会員 9社

事業推進委員の積極的な会員増強運動により成果を得ることができました。会員の皆様も入会紹介、勧誘にご協力下さい。

### 情報交換広場を開催（7月30日 / 経営委員会）

平成14年度最初の情報交換広場が、京都コンピュータ学院京都駅前校6階サロンで開催されました。

今回のテーマは「技術者の高齢化問題と時代に適応したSE教育」。人事、開発関係の管理職の方に、高年齢技術者の処遇や役職定年、明るい技術者の育成等について語り合っていました。



### 新入会員の紹介

正会員 (2002年3月入会)

株式会社トーセ

代表者名：代表取締役社長 齋藤 茂

所在地：〒600-8091

京都市下京区東洞院四条下ル

TEL.075(342)2525 FAX.075(352)2524

http://www.tose.co.jp/

設立日：1979年11月

資本金：9億6,700万円

退会会員（2002年3月付）

シーエスケイ関西様

株式会社電機製作所様

**編集後記** 朝夕の少しのそよ風に、ホッとする今日この頃です。今年ほど、秋の気配が待ち遠しい夏はなかったような気がします。当協会も社団法人として2年目を迎え、北村新会長のもと事務局も新しくなり、この夏の暑さにも劣らない会員全体の熱い思いをエネルギーにして、情報技術を通して時代に対応した「地域への貢献」の実践に向け、各事業がいよいよ本格的に動き出しています。企業経営にとっての要である情報化を広く押し進めるといふ社会的使命を、更に実現するため、事業推進委員会をはじめ、技術委員会、地域情報化委員会、経営委員会それぞれは行政諸機関との連携、業界体質の強化、協会の基盤強化など、力強い活動を続けています。企画広報委員会としましては、タイムリーな情報提供・発信を優先させるために、使用するメディアの検討も視野に入れ、内容の濃い広報活動を図って行きたいと考えています。会員企業ならびに府民の皆様には、協会事業に対して積極的な参加とご意見をお寄せいただき、当協会の発展のためにご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

(企画広報委員)

### 特別セミナーを開催

(7月29日 / 地域情報化委員会)

特別セミナー「IT導入と投資効果」が、ハートンホテル京都にて行われました。

情報システムの有効性や投資効果をどの様に評価すべきかというのは、古くて新しい経営課題です。今回は講師として日本アイ・ビーエムの専任研修部員、栗山敏様をお招きし、各企業の今後のフォーメーション決定に役立つ情報も交えながら、わかりやすく語っていただきました。



### お知らせ

#### 京都情報化フォーラム開催

テーマは「コンピュータ・セキュリティ」

ここ数年の目覚ましい情報通信網の整備とパソコンや携帯電話などの情報端末の普及は、eビジネスや電子政府へと経済社会の発展に不可欠なインフラとなりました。一方で、こうしたインフラに介入し、あるいは悪用して新たな迷惑行為から更には犯罪を誘引させている現状があります。こうした現状を見るに、ITの持つ利便性と脆弱性の不均衡を認識せざるを得ません。今年度の「京都情報化フォーラム」はこの問題を取り上げ、安全な情報システムの確立に焦点を当て、考察します。

日時：2002年10月16日(水) 午後2時～5時30分

会場：平安会館

プログラム

基調講演 「コンピュータ・セキュリティの視点」

講師： ローレルインテリジェントシステム

取締役会長 鳥飼將迪

製品紹介 システム・ソリューション

システム・ベンダーなどの企業から

#### ボウリング大会を開催

日時：2002年11月6日(水)

会場：MKボウル(上賀茂)